

高退協ニュース

高知高退協
事務局
1996・9・17
No.82

高知県高等学校
高知市丸の内二丁目一
T E 〇
L 〇
座 八八
徳島 五十一
〇館内二丁目一
八八
〇教職員協議会
〇教組一
〇付
一六八二
一八九三

八・一五集会云に 百二十人がつどう

五十一回目の「終戦」記念の日の行事として、今年の八月十五日には「安保・沖縄を考える集い」が高知城ホールで開かれ、約百二十人が集まりました。

戦争と空襲を記録する会の梅原憲作会長の司会で、まず国松勝実行委員長が主催者を代表して挨拶、来賓祝辞として山原健二郎代議士が挨拶、そのあと三つのテーマで報告がありました。

第一は沖縄問題で、七月末に行われた県教組婦人部の「平和と友情の沖縄ツアー」と、八月上旬沖縄で六百人を集めて開かれた全国高校生平和集会の参加者から報告がありました。

第二のテーマは原爆で、十四才のとき広島で被爆した田村節子さんが、当時の悲惨な被爆体験を生々しく証言し、参加者の涙をさそいました。



第三のテーマでは、強化された日米安保の狙いと基地の実態について県平和委員会の和田忠明事務局長が報告し、「リマ海域の撤去、低空飛行訓練の即時中止、米軍用地強制使用の特別立法反対、核兵器のない地球をめざす」意見広告の新聞掲載のとりくみを訴えました。

夏季学習講座開催

第10回夏季学習講座は、8月29日午後2時から高知城ホールで開催。会員講師の合田正寛さんが「東西南北」と題して、須崎工業時代に同好の士を募って「つくし会」を発足させて以来の俳句についてのお話、高知市役所の長寿生活課高齢者係長の佐竹敏彦さんが「知って得する福祉の話」として、痴呆や寝たきりや一人暮らしになった老人が高知市で受けられるサービスの紹介、をしてくださいました。

参加者は45名、懇親会にも32名と盛会でした。

第五回四プロ交流会のご案内

四国四県の仲間が高知に集い、お互いに「学び合い、励まし合う」会にしたいと思います。左記の要領で行いますので振るってご参加ください。

- 一、日時 10月26日(土) 2時 受付
10月27日(日) 11時 解散
 - 二、場所 国民宿舎 『海風荘』
 - 三、経費 一万円
- ☆夜の交流会は、名月をめながら心ゆくまで楽しむ予定です。
- 連絡先 高知市横浜西町七一三
岡崎 清恵 ☎42-3747

研修旅行のご案内

今年の日程がましまりました。今回は近くです。この研修旅行は、人との出会い、旧交をあためるといふ点でかけがいのない良さがあります。殆ど行ったことのある所だと思えますが数多くのご参加をお願いします。

十一月十二(火)・十三(水)で、詳しくは、同封の文書を見て下さい。申込は、

竹島寛之	21	56	17
窪田一郎	44	10	33
溝淵和江	08	87	51

までお願いします。

草声老詔

八月二十一日、血液製剤のトップメーカー「ミドリ十字」が、大阪地検によって強制捜査をうけました。

日本の血友病患者のうち四割に当たる約二千人がHIVに感染、四百人を超える方々が亡くなり、また非血友病患者にも被害が拡大した未曾有の薬害事件です。人命より企業の利益を上に置いてきた「ミドリ十字」は国内シェアの約半分を占める大企業で、非加熱製剤の危険性を知りながらも販売促進に力を入れていたのです。

告訴されている松下・元社長は、「厚生省薬務局長をつとめ、「ミドリ十字」に天下り、副社長そして社長に昇格した人物。天下りは他に厚生省上級官僚数人、「厚生省薬務分室」と呼ばれるほどの癒着ぶりです。また、血友病患者の遺族から告訴され、東京地検の捜査も新しい段階に入ろうと前学長(厚生省エイズ研究班の元班長)についても、同社から巨額の寄付金や援助資金を受ける一方で同社の顧問的存在としての地位にありました。同時に、ウイルス対策もなされてい

ない非加熱製剤の販売を認め、HIVの汚染の危険が分かっているからも輸入禁止や回収命令等の安全対策をとらなかつた厚生省の責任は非常に重大です。

さらには、政治家との癒着です。「ミドリ十字」から自民党への政治献金は、薬害エイズが問題となった八三年から九四年までの間で、一億円を超えているのです。橋本首相は、八九年から九四年までに八百六十万円、当時の「社労族のドン」として厚生行政に大きな影響力をもっていたのです。薬害エイズで強制捜査を受けた企業から献金を受け、密接な関係を築き、無言の政治圧力を厚生行政にかけたという事実から、その責任は重大です。

このような政・財・官・(上段につづく)

高退協事務局
会員の皆さんへ

第2回学習会のご案内

教育の現状と展望

学校から激動する現状を報告し、展望を提起してもらい、ともに論議したいと思います。ぜひ参加くださるようお願いいたします。

記

内容

- (1) 「15期中教審」は学校をどう変えようとしているか
高教組教文部長 熊沢 美郎
- (2) 高知の教育—その変化と展望
高教組書記長 野村 幸司

日時

10月1日(火) 14:00~16:30

場所

高知城ホール 3F
県教組会議室

八月

「寒泉寺日記」抄 坪井 幹之

七月

「十二日」老泳会「梅雨あけ近し。プール加温やまる。」
 「十三日」山の会「のつといを「きくや」で開く。四十数名参加。北海道旅行の写真交換と収支決算報告、カナダツアーの最終打合せ、八月の山行などが議題。終了後、懇親会。」

「十六日」高退協事務局会議。出来上がった「会員名簿」と「ニュース」の発送準備のあと、十三の項目について協議。配布体制では一七三名の手配りを確認。十七名によって会員の約半数に手渡しすることになる。今回だけでも、郵送料二二、五〇〇円の節約。
 「二十七日」山の会「カナダツアーに出発。」

(八月十日までの間にについては機関誌「こうたいきょう」に掲載予定の「カナダツアー・リレー日記」をご覧ください)

旅

のしおり

トルコ

去年の7月末、夏には行きたくなかったが、体力のあるうちにということ、トルコツアーに参加した。予想どおりの暑さ。日焼け止めは勿論、バスから出て観光となると、皆それとばかり、長袖、スカーフ、帽子と武装する。折畳みの雨傘、パーカーのフードも動員された。日焼けを極度に恐れる我々日本人の一行は、肌を日にさらして闊歩するヨーロッパ人にはさぞかし奇異笑止に見えたに違いない。それほどにしても帰ってきたら真黒だった。トルコという乾燥した大地を想像されるかもしれないが、ツアーで回った地中海、エーゲ海沿岸は緑に恵まれ、林檎、桃、麦、綿、ひまわりと畑の作物も多彩だった。デザートには西瓜がよく出た。食卓も豊かだった。

刈り取られた麦畑で、家族か数人のんびり脱穀している、女もいる、炎天下に見える人間はそれだけという光景も何度か見た。トラクターがバスの前をがたがたと進んで行くこともあった。暑熱と労働のためか、

「十一日」予定より一日遅れで深夜帰宅。

「二十日」高退協事務局会議。夏季学習講座、秋の研修旅行などについて協議。

「二十六日」山の会「笹ヶ峰登山に出発。総勢十五名、貸切りのマイクロボスに。秋霖のはしりのような気圧配置。寒風山トンネルを抜けて下津池から林道経由で登山口へ。一時半に丸山荘に着き、香掛山を往復。夕食後、はやばやと就寝。雨の音を聞く。」

「二十七日」五時半、山荘発。一時間で笹ヶ峰山頂に立つ。記念写真。ガスに包まれたので、ちち山登山は断念、下山にかかる。昨夜の雨に濡れた縦走路を慎重に下る。アキノキリンソウ、シコクフウロウの中、寒風山、桑瀬峠を経てトンネル南口の駐車場へ。「一の谷やかた」で昼食、入浴。三時過ぎに帰宅。天候不順の中、幸いにも雨には遭わなかった山行であった。

人々は日焼けしにくたびれて貧しげに見えた。男たちは日中から村の店先の椅子にたむろしていた。男性天国の印象だが、働き口がないようでもあった。一度だけ日本でもいえばおやつどき、家の前の日陰の地べたに座り込んで二人の女がお皿の西瓜を食べていた。ほっとした気持ちになったのはこの時だった。

トルコは政教分離でイスラムの戒律もゆるやかだ。コンヤで泊ったホテルのすぐ前にイスラム寺院があり、早朝、人々に礼拝を呼びかける声で目が覚めた。以前は、寺院にそびえるミナレットという尖塔の上から美声の人間が直接呼びかけたそうだが、今ではテープになったらしい。それでも朗々と厳粛であった。これがアザン(礼拝の呼びかけ)を聞いた唯一の経験であった。観光地では物売りが多い。露店の人達も日本語の単語を知っていて、Tシャツ一枚千円をくり返しているうちに「二枚千円」になっている。そこでねぼけて値切っていた日本人と商談成立。子供達の物売りも多く、しつこくつきまとう。元締めらしい大人がいる。こうして稼がなければならぬ生

「二十九日」高退協夏季学習講座。10回目を数える。満席の盛況。お二人の講師の話は面白くてためになるものであった。あとの懇親会も盛会、交流を深める。



△会員の消息

「浜田浩一さん」 七月に高知医大に入院後、現在自宅療養中。

「島山雅恵さん」 内田神経科に入院後、現在自宅療養中。

<予告>来年の山旅について

「山の会」は来年の山行計画を検討中ですが、現在浮かび上がっているものを紹介します。
 (1) 英国ハイキングツアー(6月ごろ)
 (2) 中央アルプス縦走と開田高原散策(8月)
 (3) ヒマラヤトレッキング(10月か11月)
 関心のある方には「第1次試案」をお送りしますので、坪井(75-0998)までご連絡下さい。

活なのか。学校へは行ってののか、夏休みなのかとツアータン仲間が話題になった。トルコの魅力は、自然、遺跡、博物館や寺院などだろうか。奇岩の林立する谷のカツパドキア、石灰岩でできた真白い千枚田のようなパムツカレ。見事な石造りのすり鉢状の円形劇場、崩れかけた神殿や広大な古代の街跡。トプカプ宮殿やブルーモスク、考古学博物館。そして何といてもイスタンブール。ツアーの最後に、アジア的混沌というべきイスタンブールの旧市街の雑踏にバスを乗り入れ、めきか湧き起こった。あれを思い出すと、また行きたいという気になる。(坂本)

『老・眼・鏡』

山本 晶子

「よみがえる黒髪」(桑名隆一郎・チクマ秀版社) この本を読むきっかけになったのは、抜け落ちる毛髪が、か細く、頼りなげになつてきたからです。著者の桑名さんは、高知赤十字病院の皮膚科のお医者さんで、「脱毛症外来」を開設し、各種脱毛症の患者さんを専門的に治療していらっしゃる方です。だから内容に説得力があり、一気に読めました。

「第1章、気になる「ヘア」に注目」・「第2章、発毛のメカニズム」・「第3章、脱毛の種類と治療法」・「第4章、あなたにできる「脱毛予防」」・「第5章、よみがえる黒髪」から成り立っています。特に心を動かされたのは、第5章で、「本当に毛が生える育毛剤なんてあるのだろうか?」とこの重い課題を背負い、試行錯誤を繰り返しながら、やつと桑白皮エキス、柿葉エキスが有効な育毛剤であることを突きとめ、桑白皮エキス入りの育毛剤「黒髪彩」(商品名)を作り出したことでした。

桑名さんは、徳島大学医学部皮膚科学教室に在籍していた頃から毛髪の研究をしていました。この基礎実験を核にして新しい育毛剤を開発するようにある企業から頼まれました。そこで手当たり次第に、育毛、発毛に効果があるといわれる単一物質や生薬エキスを抽出して、毛髪の細胞培養を行い、育毛効果を見ました。ある時には、実験用に使って千五百本もの毛髪を抜いてもらったそうです。次に動物実験をし、最後に脱毛症の患者に使ってもらった。桑白皮エキス、柿葉エキスの劇的な発毛効果を認めたのでした。実践に基づくものだけに興味深く読むことができました。



幻の「寅次郎・花へんろ」のあとに

八月七日の渥美清の訃報は高知の「寅さんファン」にとってはダブルショックだった。

一昨年から起った「寅さん」の高知ロケ誘致運動は、阪神大震災で一度は立ち消えとなっていたが、安芸を中心にした「寅さん一座」のユニークな活動などもあり、この三月松竹側から「社」も山田組も49作目のロケを高知で実現したい」という、過去の誘致合戦からは例をみない隠密の申し入れがあった。

うれしい寝耳に水のような話に、渡りに船と立ち上がり、全体的に動き始めた矢先であった。

この日、この時、県観光振興課は財政当局と九月補正へ向け、白熱の予算折衝の真只中だった。運動の末席に加わっていた私は羽田の出発ロビーで知った。六泊七日の東北四大まつりツアーの帰途の旅の疲れと重なり、その場にへなり込んだ。

すでに、七月末には三日間シナリオハンティングに入り、盆明けには県民に正式発表、九月に入れば山田監督のロケ・ハン、マドンナ役と製作発表、「寅次郎・花へんろ」と題名もきまり、西田敏幸も地元青年役で出演とスケジュール化されていたものだった。

何ともあつけない幕切れだった。だが、「寅さんを土佐へ呼ぶ会」に集まった私たちはこの数年のいとなみで豊かな大きなものを得た。

銀行は金利を上げて

年金者組合は八月六日、大蔵省、郵政省、全国銀行協会に対し、次の緊急申入れをおこないました。

(1) 「高齢者向け金利保障預貯金制度」を創設し、市場金利が5%を下回る場合は年5%を最低保障すること。

(2) 制度が実現するまでの間の暫定措置として、年金生活者には現行の「福祉定期」なみの金利(年四・一五%)を一千万円まで保障すること。(年金者組合の情報より)

「寅さん一座」というドサ廻りの喜劇集団を創り出し、演じる者と観る者が一体となり、木戸銭でないお捻りで「座」を運営できる地域で楽しむ演劇活動を見出したのである。

十八年前山田監督は「へたくそではあってもお客さまに喜んでいただこうと思つて一生懸命演じ、観客からお賞めのおひねりを求めてお投げしてくれることにすべるとの生きる喜びを託しているというふうな人たちがいるとしたら、その人たちがと私たちは兄弟分なのです」(山田洋次「映画をつくる」七八年)と書いた。

「いるとしたら」ではなく「いた」なかで山田組の異例のロケ申し込みとなったと確信している。

いま会は、①二年間の活動を映像と文書で残し、②「一座」も芸能文化向上のため存続、③「愛(縁)結び」と「旅の安全」を願う「寅さん地蔵」の建立にとりかかる。

何より、追悼映画会と山田講演会実現のラブコールが始まった。

この運動、「寅は死して一座を残す」だけではない。新しい文化づくりは土佐に残った。

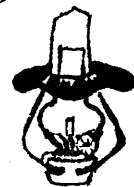
これは「絵になりますよ。山田組の洋次さん」(梅原)



合宿で腕力を鍛えろ

八月二五、二六の両日、芸西村越ヶ丘公園でテニス合宿を行いました。参加者は、梅原、南、和田、古名、窪田と現職など総勢九名の塩水プールでの水泳など大いに楽しみました。夜の懇親会は、差し入れのみの参加(湯原他)もあつたのでかなりの盛り上がりを見せました。

また来年もということになっており、広く呼びかけますのでご参加ください。なお、テニスは、毎週月曜と金曜の九時半から十一時半に春野でやっていますので、のぞきにおいで下さい。(窪田一)



私の夏休み

今年も八月一日から三日まで、毎朝六時三十分から横浜文化センター広場で小学生約三〇名相手にラジ操を行いました。

お陰で早起きの習慣が守れ、すつきりした気分です。一日を過ごせました。健康感しています。

また、外孫二人(中二と小六)を連れて、石鎚登山に挑戦。八月二三日午前十一時山頂に到着。さわやかな空気を胸いっぱい吸い込み神前で柏手を打ち、平和と健康を心から祈りました。石鎚登山は六十五歳の今年になって二度体験しました。高退協の「山行クラブ」の皆さんの気持が、少し分かりました。

全障研大会報告

去る八月二日より三日間全国障害者問題研究会全国大会が、高知市で開催されました。全国各地より数千人の障害者及び研究団体と成果を収めました。またこの大会を支援するボランティアが数百名参加し、吾が高退協より十六名の先生方に、この大会を盛り上げて頂き猛暑の中で大変な活躍をして頂きました。改めて衷心より厚くお礼申し上げます。ほんとうにご苦労さまでした。(中岡)



健康チエックのおすすめ

高知市の基本健康診査のチラシを同封しました。この他に成人検診、人間ドックなどが医療生協では受けられます。詳しくは、生協病院Ⅳ4010123の健康管理課にお問い合わせ下さい。なお、医療生協への加入もお勧めします。一四五〇〇円ですが十口でいどという要請があつていいますのでご協力ください。

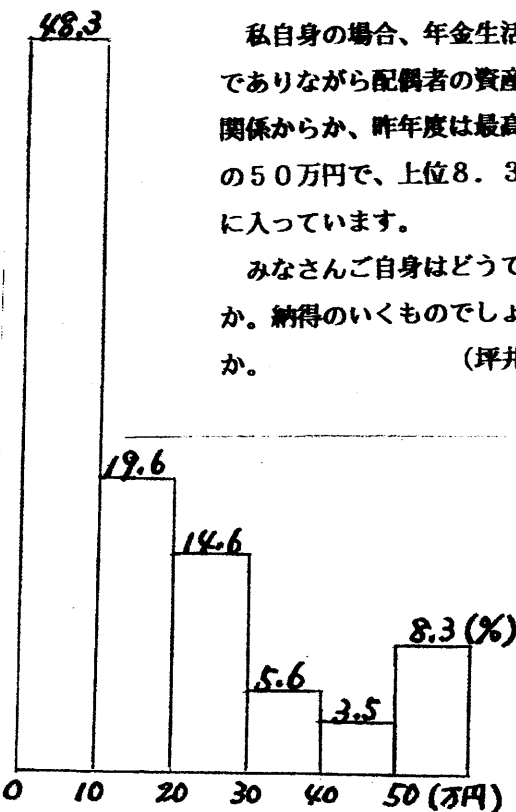


なんとかならないか保険料

下のグラフは、昨年度の高知市における国民健康保険料の段階別世帯数分布です。今年度もほぼ同じ傾向とのことです。

私自身の場合、年金生活者でありながら配偶者の資産の関係からか、昨年度は最高額の50万円で、上位8.3%に入っています。

みなさんご自身はどうですか。納得のいくものでしょうか。(坪井)



「いじめ」

「いじめ」とは、弱い者をいためつけること。小さな差別悪意の萌芽だが、侵略の戦いに通じないと否定はできない。「悲しきは瞳涼しき不登校(山原さん)」。いじめの原因でもある。児童の自殺行為にまで進行する。同情すべき「〇一五七」までもいじめめる。問題は深刻重大である。

敗戦直後、文部省が「小中高の教育」をチエックしない時期があった。地方自治体に教育を委託した。「平和民主教育ルネッサンスの時代」である。チャンネル禁止。誰も「君が代」を忘れ、「日の丸」を捨てた。国家統制、管理差別は一切許さなかった。高知で「いじめ」が初めて見られたのは、勤評闘争のとき。県教委による熾烈な「教師いじめ」があった。教育を放棄し、感情のみの教育行政。不提出校長の懲戒免職、休職、降格。長年に亘る全県下の教師の不当配転。差別人事異動。その範囲と数は正に空前絶後!! 全く狂人の暴挙であった。悪の若人の暴挙であった。悪の若人は生涯消えることはない。人間最大の侮辱を受けた。

相撲三知識 十六

林 勤

力士入門規程(1)

- 原則
 - ・義務教育終了の二十三歳未満の男子
 - ・一七三センチ、七五キ以上
 - ・内蔵検査に合格
- 特例：幕下付け出し
 - ・入門前の二箇年間に全日本相撲選手権(アマ選手権)で十六位以上
 - 全国学生選手権、全日本実業団選手権、国体成年A、の何れかで優勝、又は三位以上を二回以上
 - ・二十歳から二五歳までの身長、体重は右の規程に足りなくてもよい
 - ・内蔵検査に合格
- ※平成五年一月場所から適用
 - ・右のとおりであるが、少し説明と感想を述べさせていただく。
 - ①、原則通りの検査をうけて入門すると、その場所は番付外の力士として前相撲をとるが、三番勝つと次の場所に、はじめて番付け(序ノ口)へ載る。

戦後教育に統制、管理、差別をもたらししたのは国家権力!! いじめは必然的に拡大した。3%のエリート教育は学校格差を産み、国民のための教育が権力の指向する教育に変質した。文部省の「いじめ」諮問委員会は「いじめ」に対して転校を認めよと答申した。皮相的で何の解決策にもならない。問題の本質に立ち入ることを故意に避けている。基本的な教育理念の問題は考えていない。抜本的解決策は他にない。

「いじめ」の本質的な基盤なるものを明確に認識しなければならぬ!!

現実の「統制管理差別教育」を放棄せよ!!

教科書検定制、指導要領も廃止すべし!!

検定教科書指導要領のみを真理とする理由は全くない。真理は国民が所有し創造するものである。国定教科書の「ススメ、ヘイタイスス」の戦前の絶対的天皇制下の教育への郷愁は抹消すべし!! 根の深い、いじめ問題である。

最後に八文字の言葉を捧げて、皆さんの批判をおおぎたい。

「前事不忘。後事之師」
(富永生)

幕下付け出し力士は、その場所には番付け表へ名前が載らないが、幕下力士として正規の七番(幕下以下)は一場所七番である)をとる。次の場所にその成績に応じて番付位置へ載る。負けた場合は、勿論幕下の下の「三段目」になる。

②以前は、大学出身力士は幕下付け出しの実績を挙げていなくても、レギュラークラスなら大体付け出しで入門していたが、現在は規程通りであるので、実績がなくとも前相撲から入門する学生出身力士もかなりいる。

舞の海は平成二年五月場所の幕下付け出しで入門しているが、右の幕下付け出しの実績を挙げていないのだから、現在なら原則通りの検査を受けて入門しなければならぬ。

①、一七三センチの舞の海は合格しないので、現行規程なら、技のデパートと言われた小舞の海は生まれなかつたことになる。

(つづく)

私の健康法について

井上 徳治

私は、退職一年生、第二の人生をスタートしたばかりです。現職を退いた淋しさは、少しはありますが、それよりも、我が身の自由の喜びの方が大きいかもしれません。

現職中にできなかった事、現職中と少しは違った歩み方をしてみたいという気持ちがあります。

かねがね、家内より、水泳が健康に良いと言われていたし、NHKテレビで家の健康法は鷹狩りと水泳であったと見たこともあり、近くにスイミングスクールがあり、そこに勤務している友人に道で会い、即、入学を決め、この七月より行っていきます。五十歳以上の強い練習時間です。

水泳は、プールの泳いだのは大学生の時、もう四十年前前のことで、自信もありませんでした。泳いでみると割合泳げるもので、最初の日は、クロール、平泳ぎ、背泳ぎでなんと五百メートルの呼吸法が難儀でした。クロールの呼吸法が難儀でした。クロールの本を買って来て、クロールのストロークはS字型、脱力はヒジで、手の平は太ももをなでながら、病気を付けて練習して、病気が鎮痛の塗り薬を貰い、マッサージをして貰ったりして、腹もひつこんで来たようです。

水泳教室も女性上位で、私のコースも4対1の割合で女性が多いです。私は男性として頑張っています。

「つくし会」吟行旅行(岡山)

- 雪舟碑しみじみ仰ぐ蝉しぐれ さちを
- 井山てふ山号涼し雪舟寺 みち代
- 緑蔭に三絶の碑をうち仰ぐ 伸 秋
- 斜長橋夏雲もまた跨ぎをり たねを
- 一行を迎ふるに早や法師蟬 さちを
- 托鉢の笠吊されて坊涼し 伸 秋
- 扁額の白き惣社の文字涼し 青 幹
- 山門を入れば善男吾涼し たねを
- 水攻めの城跡悲し蓮咲く みち代
- 借景の夏山低し古戦場 青 幹



「こうたいきょう」No.17 原稿募集

今年も年末発行予定で機関誌「こうたいきょう」をお届けしたいと思います。つきましては、皆様からの積極的なご投稿をお願い致します。

「会員近況調査」のハガキに記入してご返送もよろしく。

記

- 1、原稿締切 10月15日
- 2、内 容 「続それぞれの50年」その他、詩、短歌、俳句など 自由
- 3、原稿送付先
高知市丸ノ内2-1-10
教育会館内 高教組気付
高知高退協機関誌係